

上矢部高校(美術科)の教育活動について

令和6年11月30日(土)

神奈川県立上矢部高等学校 校長 やなせ きみなり 築瀬 公成

○上矢部高校の校歌

さわやかな風 やさしく吹いて はくあ 白亜の校舎が まぶしく眼に沁しみみる

○上矢部高校の沿革

- 1983年 開校(旭区柏町) 1期生入学 ※R7年入学生は43期生
- 1985年 現在の戸塚区矢部町に移転
- 1995年 普通科に美術陶芸コースができる
- 2017年 専門学科の美術科新設 普通科と美術科の併置校に
※R7年入学生は美術科9期生
- 2020年 インクルーシブ教育実践推進校に指定

○教育目標

「豊かな個性」 「自主・自律」 「連帯」

○インクルーシブ教育実践推進校

神奈川県では、共生社会(すべての人が、相互に、人格と個性を尊重し、支え合い、生き生きと生活できる社会)の実現をめざして、すべての子どもができるだけ同じ場で共に学び、共に育つインクルーシブ教育を推進しています。

インクルーシブ教育実践推進校では、知的障がいのある生徒を受け入れ、同じ教室で一緒に授業を受け、部活動や学校行事も共に行います。

○上矢部高校美術科の入学者選抜には面接と実技があります。

美術科
面接項目

- ・入学希望の理由
- ・中学校での教科等に対する学習意欲
- ・中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲
- ・学校・学科等の特色理解、高校での教科・科目等に対する学習意欲
- ・高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲
- ・面接の態度

※神奈川県のHPに公開済み(上矢部高校のHPからリンク有)

実技検査 与えられた題材を鉛筆でデッサン(素描)する。
・鉛筆、練り消しゴム(消しゴムも可)を持参する。
・鉛筆削り用のカッターナイフを持参してもよい。
・題材および用紙(B4画用紙)は学校で用意する。 ・検査時間は90分とする。

上矢部高校が育てたい生徒像

自ら考え、表現し、行動する力を伸ばすことに意欲的で、自ら希望する進路の実現を目指して努力する生徒。これまでの経験をもとに、さらに自分を伸ばそうとし、他者と共に高め合おうとする生徒。
上矢部高校スクール・ポリシー(アドミッション・ポリシー)より

学力検査や調査書の点数だけではなく、一人ひとりの意欲やこれまでの経験など人物像を、面接を通してしっかりみます。

「共に学び、共に育つ」共生社会の担い手となるような生徒の受検を期待しています。